

日本語の文に[くせに]の使用の分析

概要

フリノプリダ

〇八四二〇〇一



日本文学科

文学部

マラナタキリスト教大学

バンドン

二〇一二

日本語の文に「くせに」の使用の分析

序論

日本語の文法の一つに「くせに」がある。「くせに」は形式名詞と接続の表現とすることができる。「くせに」は接続の表現となる。霜村（1988：63）によると「くせに」はこのように定義されている：

“前件から考えてそうするのが変だとかおかしいというような文が後に続く。「のに」より相手も非難したり軽蔑する意味が強く、改まった場合には使わない。”

この理論から理解することができることは、「くせに」は「のに」と似ているが、しかし「のに」より相手を非難したり軽蔑する意味が強いである。「くせに」は意味的、接続詞と似ている。「くせに」は接続詞的に機能する。「くせに」は前の文に後の文を接続する。前の文は事実で、後の文は非難したり軽蔑する気持ちを表す。しかし、意味的には、接続の表現とすることができる。

この他にも、形式名詞に「くせに」を入れるが言語学の熟練がいる。長柄（1987：18）によると「くせに」はこのように定義されて

いる：「皮肉、非難する気持ちを表す。逆説表現「のに」と似ている が、「のに」よりも話者の期待に反するという気持ちが強い。」

この理論から理解できることは、「くせに」は話者の期待に反するという気持ちがある。意味が皮肉、非難する気持ちを表現する。「くせに」は形式名詞となる。「くせに」は形体的には、形式名詞の性格を持っているから、形式名詞ということが出来る。「くせに」は自立語ではないため他の言葉を接続することで意味を持つ。

本論

日本語の文では「くせに」は名詞と動詞と形容詞と形容動詞に付くことができる：

1. あんなに沢山、石油で外貨を稼いだくせに、イランの国民はすこしも豊かになっていない。

このデータは「稼いだ」＋「くせに」から作られている。「稼ぐ」は過去形で、「稼いだくせに」になる。この文の「くせに」は形体的には、形式名詞の性格を持っている。「くせに」は名詞と言う自立語ではないため他の言葉を接続することで意味を持つ。として「くせに」は意味的に接続の表現である。「くせに」は接続詞として機能し、句に主節を接続する。句は‘石油で外貨を稼いだくせに’であり、主節は‘イランの国

民はすこしも豊かになっていない’である。「くせに」は「稼いだ」の動詞を接続して、句の中にある。

この文の意味はイランの国民に対して非難する気持ちを示す。イランは中東にある世界最大の石油輸出国である。しかしながら、イランの国民はすこしも豊かになっていない。事実は石油が多くあったら、豊かな国になることができる。

結論

1. 骨組みは以下のようになる:

品詞分類	形体的
名詞	名詞＋の＋くせに
動詞	辞書形＋くせに 否定形＋くせに 過去形＋くせに ～ている＋くせに
形容詞	形容詞＋くせに
形容動詞	形容動詞＋な＋くせに

	形容動詞+だった+くせに
--	--------------

2. 骨組みは以下のようになる:

品詞分類	意味論
くせには接続の表現となる	意味的には接続の表現とすることができる。「くせに」は接続詞として機能するから、前の文に後の文を接続する。「くせに」は複文で、前の文に後の文の逆接表現を示す。前の文は事実で、そして後の文は相手に対する話者の皮肉、非難、軽蔑する気持ちを表す。

DAFTAR ISI

KATA PENGANTAR.....	iii
DAFTAR ISI.....	vi
BAB I: PENDAHULUAN.....	1
1.1 Latar Belakang Masalah.....	1
1.2 Rumusan Masalah.....	9
1.3 Tujuan Penelitian.....	10
1.4 Metode Penelitian dan Teknik Kajian.....	10
1.5 Organisasi Penulisan.....	11
BAB II: KAJIAN TEORI.....	13
2.1 Sintaksis.....	13
2.2 Semantik.....	18
2.3 くせに (<i>kuse-ni</i>).....	20
2.3.1 くせに (<i>kuse-ni</i>) sebagai 形式名詞 (<i>keishiki meishi</i>).....	21
2.3.2 くせに (<i>kuse-ni</i>) sebagai 接続の表現 (<i>setsuzoku no hyougen</i>).....	22
BAB III: ANALISIS DATA.....	28
3.1 名詞 (<i>meishi</i>) + の + くせに (<i>kuse-ni</i>).....	29
3.2 動詞 (<i>doushi</i>) + くせに (<i>kuse-ni</i>).....	42
3.3 形容詞 (<i>keiyoushi</i>) + くせに (<i>kuse-ni</i>).....	51

3.4 形容動詞 (keiyoudoushi) + くせに (<i>kuse-ni</i>).....	55
BAB IV : SIMPULAN.....	61
DAFTAR PUSTAKA.....	viii
LAMPIRAN 1.....	x
LAMPIRAN 2.....	xxi
SINOPSIS.....	xxxii
RIWAYAT HIDUP.....	xxxvi